

Title	低成長市場下における成長戦略 - 自動車部品再生業の事例を中心として -
Sub Title	
Author	飯塚真太郎 小野桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第391号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0391">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0391</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 飯塚 真太郎

主査 小野 桂之介

副査 古川 公成

所属ゼミール 小野 桂之介 研

柴田 典男

## 低成長市場下における成長戦略 —自動車部品再生業の事例を中心として—

わが国経済は、高度成長時代から二度の石油危機を経て、低成長時代へと移行した。それに伴い、多くの市場分野においてその成長は鈍化してきている。企業にとって、自らの身を置く市場分野の成長が停滞するなかで、成長を実現してゆくためには、新しい成長機会を発見し、それを自らのものとしてゆかねばならない。本研究の目的は、「対象市場の拡大鈍化の中で新たな成長の方向を探索する」という普遍的な経営課題に関して自分自身の基本的な考え方を構築することにある。より具体的には、自動車部品再生業に携わるM社の事例を取り上げ、その新たな成長の方向の探索と選択、および、そこで採られるべき経営戦略の立案について取り組んでみた。研究の手順としては、まずロスチャイルドの経営戦略理論を基本的な枠組みとし、M社の関連業界である自動車工業、自動車部品業、補修部品市場について分析し、M社の市場分野である再生部品業について、世界で最も発達している米国のそれと比較することにより、当業界の将来展望を行い、それに基き、M社の成長の方向を決定し、成長戦略を策定した。この事例研究の結果、企業の成長方向の決定におけるプロセスについて、1つの考え方を得た。それは、一企業が進むべき方向としては、最終的には、自社が社会に与える付加価値は何かという問に対する答えであり、企業として社会的な使命を果すことになる方向へ進むべきであるという考え方である。